

進捗状況の概要

事業全体は順調に推進されており、大きな指標である学生の授業外学修時間は順調に増加している。一方、高専機構の推進するモデルコアカリキュラムの改訂に伴い、開発した社会人力・人間力を評価するルーブリックを改訂する必要がある、その可視化は平成 29 年度に実施する予定である。事業の進捗状況については、平成 27 年度までの取組を指標にまとめて以下に示す。

<指標>

①授業ごとの MCC 対応ドリル・小テスト実施

- i) MCC 対応ドリル・小テストを導入した授業科目の割合: 53.5% (実施科目数/対象科目数)
- ii) 授業ごとの予習を促す授業科目の割合: 26.7% (実施科目数/対象科目数)

②教員面談によるポートフォリオのチェック

- i) LMS を活用した学修支援ミーティング実施: 全学年で 2 回実施
クラスの割合 100% (21 クラス/21 クラス)
- ii) LMS を活用した目標設定シートの作成割合 95.8% (作成学生数/在籍学生数)

③学修課程評価のルーブリック活用科目の割合

- i) 学修過程の評価を実施する授業科目の割合 44.6% (実施科目/専任教員担当科目)

④分野横断的能力評価のルーブリック開発

- i) 学外の学生調査 (アセスメント) の実施 1, 2, 3, 4 年生で実施、5 年生・専攻科生は一部で実施
- ii) 分野横断的能力を評価する正課科目での評価 14 科目で評価を試行
- iii) 分野横断的能力を評価する正課外活動での評価 分野横断的能力と正課外活動の関係についてアンケートを実施した
- iv) 学外の学生調査アセスメントと本校が開発する分野横断的能力評価指標の検証

⑤企業アンケートの実施

- i) 学生の主な就職先への調査 **実施した**

⑥学内の学生調査 (学修行動調査)

- i) 退学率 **2.3%** (退学者数/在籍者数)
- ii) プレースメントテストの実施 **100%** (テスト実施者/入学者数)
- iii) 学修行動調査の実施率 **96.9%** (実施学生数/在学者数)
- iv) 学生の授業外学修時間 **1 週間当たり 4.9 時間**

⑦研修会参加による IR 人材養成

- i) IR を担当できる教職員数 5 人

⑧シラバス記載の到達度アンケート

- i) 学修到達度調査の実施率 **66.3%** (実施科目/開講科目)
- ii) 到達レベルの達成者が 80% の科目数割合 **65.1%** (達成科目/開講科目)

⑨授業評価アンケート、新入生アンケート、卒業次アンケートのクラウドシステム活用

- i) 授業満足度アンケートを実施している学生の割合 **96.7%** (実施学生数/在籍者数)
- ii) 授業満足度アンケートにおける授業満足率 **76%** (実施学生数/在籍者数)
- iii) 新入生アンケートの実施率 100% (実施学生数/入学者数)
- iv) 卒業次アンケートの実施率 76% (実施学生数/卒業生数)

⑩AP 作成ワークショップの実施

- i) AP 作成ワークショップの開催 開催した
- ii) ティーチング・ポートフォリオの更新者数 累積で 17 名
- iii) AP 作成者数 累積で 9 名
- iv) ミニ AP 作成者数 累積で 11 名